

健康ニュース

投書に答える 利用しやすい病院を目指して

病院利用委員会



大増税・大軍拡ノーの署名にご協力を!!

平和、いのち
くらしを
守ろう。

大増税
大軍拡
NO!

互助組合員みなさん!
自公政権は、日本の平和を守るためと言って、5年間で43兆円もの税金を、軍事費にあてようとしています。軍事費増強では決して平和は守れない。憲法九条を生かした、外交努力を最大限に行ってこそ、戦争のない平和な日本をつくることができます。「税金は軍事費よりも、私たちの暮らし応援へとふり向けよ」という、みなさんの思いを署名に託して下さい。ご家族、友人、知人、ご近所のお知り合いの方に、声掛けていただき、署名にご協力をお願いします。

意見交換を行った投書に
対する返事・対応は病院1

投書に回答します

地域の人が利用しやすい東神戸病院にしていけるために、「病院利用委員会」は活動しています。ここでは互助組合員が院内を点検して回る「院内ラウンド」(※感染症対策で休止中)他、院内各所に設置された「投書箱」に投書されたご意見・ご感想について病院職員と意見交換を行い、回答を考えます。

(2面に続く)

階段に掲示しています。今回はその一部を紹介いたします。
◎送迎バスを8時台からもち増やして下さい。受付あたりでサポートする人もいらっしやったらうれいします。
▼貴重なご意見をありがとうございます。病院への交通手段は重要だと考えています。すぐには改善できないかもしれませんが、法人でバス運用について見直す予定にしています。また受

お引越された方、家族構成に変更があった方は互助組合事務局 ((078) 851-9381) までお知らせください。

今号は総会議案別刷(左綴り横書き4頁)を折り込み、本紙は4頁に縮小して発行しました。

支部だより

生田支部

待ってました!
「お餅つき」

2024年2月10日土曜日、やや時期がずれましたが4年ぶりに生田診療所と一緒に「お餅つき」を行いました。

例年は近くの酒屋さんでもち米の購入と道具一式を借りていましたが、今回は準備不足で借りられなかったため、もち米はネット

事業所紹介

ケアセンター

ふれあいのご紹介

所長代行 鈴木佐和子

「介護が必要になってもいつまでもこの街で暮らしたい」地域の要求から2004年5月1日、東神戸病院の道向かい3階建ての「フイサー」事業所「ケアセンターふれあい」が誕生しました。今年度スローガンは「活動と参加の向上から目指す利用者様の健康と幸福の追求」です。



住所: 〒658-0051 東灘区住吉本町2-20-15
TEL: (078) 843-0201

問い合わせ



購入、道具は病院、組織部、賛合北・南、柳診、東診の皆様のご協力と借りることができました。今回は、不慣れな部分も多く、もち米の量は少し減らし20kgにしました。3年前に購入した餅つき機がや

つと目の目を見ました。当日は武村所長の年季の入ったつき始めからスタート。丸め作業には組合員さんの飛び入り参加もあり、和気あいあいとし楽しみなが、柔らかくておいしいお餅ができました。できたお餅は商店街や通りがかりの方に振舞い、良いアピールにもなりました。



もやしとニラの炒め物

【材料 (1人分)】

豚バラ肉…………… 50g
もやし…………… 1/2袋
にんじん…………… 3cm
ニラ…………… 1/2把(わ)

【調味料】

しょうゆ…………… 大さじ1/2
酒…………… 大さじ1/2
おろしにんにく……………
(市販チューブ)…………… 1cm



【作り方】

- ①調味料は混ぜ合わせておく。
- ②もやしは洗って水気をきる。にんじんは短冊形に切る。ニラは3cmの長さに切る。
- ③フライパンに湯を沸かして塩少々、にんじんを入れてサッとゆで、豚肉を加えてほぐす。もやしを加えて、ひと煮立ちさせ、ざるに上げて湯をきる。
- ④フライパンの水気を拭いて、サラダ油・ごま油を各小さじ1を熱し、③を炒める。①をまわし入れて手早く炒める。



ほくら支部
中町 則子

近頃は何かにつけて機械化しています。マイナンバーもそう思われます。必要か？と疑問に思えます。便利な分怖いです。しかし、時代についていくには仕方ないのかと考えます。

—— お詫びと訂正 ——
健康ニュース3月号（No.410）に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。
5面「巡回バス 時刻表」
誤：神鉄 大池駅 12:15
神鉄 谷上駅 12:25
正：神鉄 谷上駅 12:15
神鉄 大池駅 12:25
なお、こちらのQRコードを読み取っていただくか、健康ニュース7月号（No.412）にも正しい時刻表を掲載予定です。



学生時代の友達に久しぶりに会いました。時々、おたよりポストに載せていただいた私の名前を見て「元気にしてるんやわ」と安心して下さっているとのこと。安否確認のコーナーになりました。

尾川 智子さん（東灘区）

3月号において、お薬手帳のお話で持病を有するものとして、予期せぬ自然災害に役立つものとして、常に携帯の必要性を強く感じました。

道上 静男さん（東灘区）



いつも楽しみに健康ニュースを見ています。いろいろな内容が有り、頭の中に入れるようにしています。

小島 秀夫さん（東灘区）



2つの絵に7か所ちがうところがあります。どこでしょうか？（印刷のよれやかすれを除く）
絵に7か所の○印を入れ、ハガキ・FAX・メールにてご応募ください。住所・氏名を忘れずに。

■宛先 〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町2-19-3
東神戸医療互助組合事務局 宛
■FAX 078-821-7270
■メール info@kobegojo.sakura.ne.jp
■しめきり 6月10日到着分まで
※正解者の中から抽選で10人の方に500円の図書カードを進呈。
★410号では110通の応募があり、107通の正解でした。
★410号の答え——①女びなの冠 ②女びなの扇子 ③右手前のひし餅 ④中央手前の杯の位置 ⑤左手前の官女が持つ三方の穴 ⑥左端手前の官女の髪型 ⑦左後ろの五人囃子の烏帽子
■当選者（410号）
西垣 玉枝さん（北区）
住森登代子さん（垂水区）
宮崎 照美さん（灘区）
岡崎 孝子さん（灘区）
森田 富子さん（中央区）
豊田 節子さん（中央区）
棚池 恒子さん（北区）
河野 勝美さん（兵庫区）
豊成健之介さん（東灘区）
菊川 恵子さん（宝塚市）

出資金・出資運動
にご協力下さい!!

出資金は東神戸病院をはじめとする医療・介護の事業を支える大きな力となっています。1口1,000円単位でいつでも増資・減資（貯金のように預けたり、下ろしたりすること）ができます。医療・介護を誰もが安心して受け続けられるためにみなさまの出資金で応援をお願いします。

2024年春節祭 （中華街（神戸））

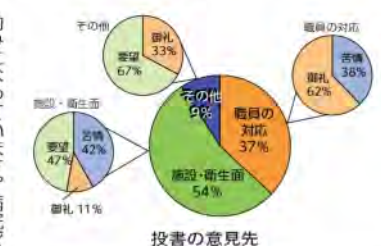
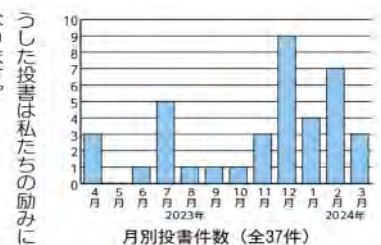
灘東支部 小林 文夫さん



「コロナ禍の影響を受けて、自粛ムードで静かな春節祭が続いていましたが、昨年からは賑わいが戻ってきて、今年はすっかり以前と変わらない華やかな（中国）獅子舞を観ることができました。来年も、再来年もこの華やかな伝統行事を観れることを祈りたいと思います。」

付近くでサポートする人ですが、直ぐという事にはなりませんが、サポートスタッフの導入を検討しています。

また、言葉遣いや態度は、自分たちでは気がつかないものです。また、お気づきの点がありましたら遠慮なくお知らせ下さい。私たちの接遇改善のために大切なことと考えています。



「要望 苦情 そして 励みになる御礼」
この一年をみて投書件数は増えてきています。内容も「施設・衛生面」についてや「職員への要望・苦情」が多数ある中、「職員の対応」に対しての御礼もありました。要望・苦情については真摯に受け止め、改善に努めています。

一方の御礼に関しては病院で働く職員にとって心温まる励みになります。病院で気がついたことがあれば「投書」してください。（QRコードを讀み取ることで投書できます）
今日より明日、明日より明日と利用しやすい病院となるよう働きかけます。

また、今は「投書箱」という名で病院に7か所設置していますが、新しいネーミングも募集しています。「こんな名前なら気軽に意見を入れやすい」といった名前がありましたら、互助組合（☎851-9381）まで連絡ください。

現在の自衛隊の存在は憲法違反である。憲法第9条では「戦力は保持しない」と定めているが、自衛隊は明らかに戦力である。太平洋戦争に敗北した後、平和国家を目指す日本が世界に宣言した9条は憲法の最大の条文である。違憲状態を正すことが必要である。歴代の政府は「自衛隊は合憲である」という苦しい解釈をしている。自衛隊は戦力ではないという憲法9条を正しい文章、正しい解釈とするには、自衛隊を廃止するしかない。戦争を回避するには、すべての国が軍隊を廃止することが理想である。とりあえずは軍拡競争をやめることである。違憲状態を解消するもう一つの方法は、9条を改正することである。自衛隊のための軍隊を認めることである。しかし、この方法では戦争は避けられない。世界の歴史はこれらの連続であった。たとえ国が滅びても、戦争はありである。平和外交が必要であり、現在の9条がそれを後押しするのである。



い峰を築きましょう。

14. 支部活動活性化のために三役（支部長、副支部長、会計、事務局長の配置など）を各支部とも確立し、支部全体の活動が自主性をもって積極的に活動できる体制づくりに努めます。
15. 社会保障・保健活動の担い手づくりをめざす学習企画や相談対応マニュアルを作成します。また、「運営委員学習交流会」「いつでも元氣」交流会を開催し、職員に向けても「互助組合をより理解できる内容」を企画し、組織の強化を図ります。
16. 日常的に組合員さんとなつたり、支部活動の活性化するために、「ほくら・うはら支部リニューアルプロジェクト」を中心に支部分割を目指します。
17. 地域の中で「受療権」を守り、「誰もが安心してかかれる、医療・介護の実現」を実践している事業所を経営面でも支える為に出資金の増資運動をさらに大きく取り組みます。
18. 互助組合をより多くの方に知ってもらい、活動に参加してもらうために「健康ニュース」や「ホームページ」、「公式ライン」の内容を充実し、魅力あるものにします。さらに裾野を広げるためにSNSの活用について研究し、活動に取り入れていきます。また、「支部ニュース交流会」を開催し他支部から紙面づくりを学び、より地域に密着した情報発信にも努めます。
19. 「ひとりぼっち」「困っている人」たちに寄り添うために、職員とともに地域に出て行き、組合員をはじめとした地域の方々と対話を増やす取り組みを広げていきます。また、困ったらずくに互助組合への窓口を設け、すみやかに連絡ができるように工夫をしていきます。
20. 病院利用委員会などで、地域や患者さんの声を事業所に届け、より良い事業所づくりを職員の方と共に進めていきます。併せて、組合員さんをはじめ地域の方の事業所の利用を積極的に呼びかけます。
21. 共和国の事業所を「地域の財産」として支え、病院リニューアルの実現も含めて組合員の声を集め、夢のある互助組合活動の場づくりと構想づくり、「医療と介護の一体化」を共にす

めます。

22. 今年9月に開催される「第16回共同組織活動交流会（主催：全日本民医連）」に積極的に参加し、全国の多彩な実践・活動を交流して今後の活動に活かします。

Ⅳ 社保平和、まちづくり運動

23. 「75歳以上医療費窓口2割化中止を求める」「現行の健康保険証をのこせ」「済生会兵庫県病院の存続・充実を求め、地域医療を守る」「子ども医療費の無償化」など社会保障拡充と受療権を守る運動を進めます。
24. まちづくりの視点で地域の要求や困りごとを聞き、改善のために地域の民主団体、自治会活動などと手を取り合いながら自治体や行政への働きかけをおこない、積極的に活動を進めます。
25. HPH活動などのアウトリーチ活動を通して地域から“ひとりぼっち”を無くし、地域と広く深くつながれる活動に取り組みます。
26. 引き続き、神鋼石炭火力発電所建設稼働の中止を求める運動や、NO₂カプセル調査に取り組み、地球温暖化や大気汚染、PFAS（有機フッ素化合物）などの環境問題について、関係団体と学習を深め、改善運動に取り組みます。
27. 核兵器禁止条約の締結を歓迎・支援し日本政府への署名を呼びかけ、非核神戸方式を堅持し、核兵器廃絶や原発ゼロの運動に取り組み、改憲反対や沖縄辺野古新基地建設反対運動と連帯しながら平和な社会の実現に向けて運動に積極的に取り組みます。

基本課題（目標）

■ 仲間ふやし	850件
■ 出資金	10,000件
	増資1億円（純増5,000万円）
■ いつでも元氣	50郡増
■ 世話人づくり（お世話がかり）	
組合員50人に対して1人（配達協力者含め400人）	
■ 転居先不明除く組合員	20,000世帯へ

東神戸医療互助組合

2024年度総代会方針(案)

スローガン(案)

- 多彩で豊かな活動を広げ“夢と希望ある”最高の峰である20,000世帯の組織を作り上げましょう。
- ひとりぼっちの高齢者をつくらない、いつまでも地域のひとたちと共に安心して住み続けられるまちづくりに取り組みましょう。
- 地域に出かけ、共和国をはじめとした事業所の利点を発信し、困りごとに耳を傾け、共に解決する活動を重視しましょう。
- 憲法9条をまもれ、25条の社会保障の拡充をめざし、平和・いのち・くらし・健康を守るため、連帯し共同行動を進めましょう。

はじめに

2023年度、東神戸医療互助組合は神戸健康共和国と共に地域に寄り添いながら、創立70周年を迎え、11月5日に「健康まつり」を2,800人規模で盛大に開催しました。5月には新型コロナウイルスも第5類に移行され、地域から孤立している組合員さんとなつがろうと地域訪問や様々な企画が旺盛に取り組みされました。

一方、格差と貧困の拡大で深刻な生活困難が広がり、物価高騰がいつそう暮らしを脅かしていま

す。そんな中、岸田政権は大軍拡を強行し、社会保障費の大幅削減をすすめています。マイナンバーカードと健康保険証を一体化して取得を強制し、今年12月2日には現行の健康保険証を廃止すると明言しています。憲法にもとづいた私たちの人権と受療権を守る運動をより一層強めていかなければなりません。

世界では、ウクライナ侵攻、ガザ地域のイスラエル軍事攻撃の惨禍は拡大し続けています。国連憲章が踏みにじられ、国際人道法上は許されないことです。即時停戦は世界中の市民社会の願いです。唯一の被爆国である日本の平和外交をおこなう役割はますます重要です。

平和であってこそ、人とのつながりがあるからこそ、住み慣れたまちで誰もが安心して住み続けることができます。さらに地域とのつながりを広げ、共同組織として次の時代への大きな第一歩を踏み出していきましょう。

最後に、第48期総代会の任務は、①2023年度のまとめと2024年度の方針決定。②決算・予算の確認です。

第48期定期総代会のご案内

6月2日（日）

午前9時30分開場 10時00分開会
(13時閉会予定)

兵庫県中央労働センター
2階 大ホール

● JR・阪神「元町」駅より西北へ徒歩15分。

2023年度 総括

1. 基本課題の到達

■加入

- 【年間到達】 292件
(年間目標/目標比 850件/34.3%)
(前年/前年比 276件/105.7%)
- ◆5月8日からコロナが第5類に移行され、コミセンや各種活動の再開で、運営委員をはじめとした企画に参加された方に声をかけ、組合員ふやし運動で活躍されました。
- ◆青空健康チェックを再開し、その場で加入がありました。

■出資金

- 【年間到達】 6,660万円
(年間目標/目標比 1億円/66.6%)
(前年/前年比 6,425万円/103.6%)
- ◆昨年から出資件数にこだわって、それが金額にもつながり月間中は昨年実績を300万円近く上回りました。また、緊急増資アピールで振込用紙による増資が99件427万円ありました。
- ◆青空健康チェックで運営委員さんからの声掛けで出資金を持ってこられるようになった方が誕生しました。

■いつでも元気

- 【年間到達】 ▲6部増(購読総数 388部)
- ◆全日本の職員増誌キャンペーンの活用や、日常的に支部での購読の呼びかけをする中で36部、新しい購読者が増えました。
- ◆10月13日に『「いつでも元気」交流集会』を開催し、購読者拡大経験や還元金の活用について交流をしました。

2. 居場所と世話人づくり

- ◆互助組合の世話人さんは年度当初389人おり、年度中に運営委員や健康ニュース手配り協力者が22人増えました。
- ◆6月18日「ボランティア慰労&交流会」を開催し22人が参加しました。1部で「地域活動に参加しましょう」について学習をし、2部では各

居場所活動の交流をしました。

- ◆6月時点では様々な制約がある中で「居場所活動」が再開されていましたが、7月から最低限の感染対策をおこなって昼食会・喫茶などを再開し、地域の方に歓迎されました。
- ◆7月31日に「運営委員学習交流会」を開催し、支部分割や世代交代など日ごろの運営委員としての悩みなど率直に意見交換できる場となりました。
- ◆8月30日に「関西共同印刷所見学&ミニ編集講座」を実施し、15人が参加。機関紙ができるまでの過程を学んだあと、支部ニュースにも活用できる編集講座を行い、支部ニュースのより良い紙面づくりのための学習をしました。

3. 健康づくり

- ◆医療懇談会は月間中に4回開催され、日ごろの悩みを専門職から聞き、交流する良い機会となりました。
- ◆5月より各支部の居場所で健康チェックが開催され、青空健康チェックも感染対策などおこない再開がされました。
- ◆楽しく無理なく取り組める「ヘルスアップチャレンジ」は「筋肉コース」のリニューアル、「現役世代」「子どもチャレンジコース」の2コースを追加し、全7コースに過去最高の274人の参加がありました。
- ◆8月に「認知症サポーター養成講座」、10月に「認知症サポーター実践講座」の2段階で開催し、認知症についての理解を深め、かかわり方を学びました。

4. 組織作りと職員との協力

- ◆新入職員研修での組合員訪問が病院周辺支部の協力により再開されました。
- ◆月間中、訪問件数1,000件にこだわり、17回の地域訪問行動と21人の手配り協力者が対話をし、1,061件の訪問と288件の対話をおこないました。訪問先では「わざわざ来てくれてありがとう」など歓迎される声が多く聞かれました。
- ◆病院利用委員会などで職員と共に良い事業所づくりに取り組み、投書内容の回答を迅速に

行うために、投書箱の確認を9月より2回/月から4回/月に変更し投書用紙の回収を行い、投書用紙についてはQRコードの活用をはじめました。

5. 社保平和、まちづくり運動

- ◆社保平和委員会を中心に、毎月の委員会前に駅頭署名行動を実施。芦屋支部では毎月、「市長宛子ども医療費無料化署名」宣伝行動をおこないました。葦合南支部では「現行の保険証を残せ」署名を持って地域訪問に出かけ、生田支部でも診療所前での「現行の保険証を残せ」「社会保障拡充」署名行動をおこないました。
- ◆「平和行進」「原水爆禁止世界大会」に参加し、「高校生が描いた原爆の絵展」を開催するなど、平和な社会の実現に向けて学習を深めました。
- ◆「くらしと命を守るハンドブック」を全運営委員に配布し、活用方法について連続学習会を開催(2023.2~2023.6)しました。
- ◆「マイナンバーの仕組み」(10月4日)についての学習会を企画実施しました。
- ◆2024年1月1日に発災した「令和6年 能登半島地震」に対し、現地への支援として「緊急義援金」に取り組み、共同組織の仲間には檄布を送るなど支援をおこないました。

6. 多彩で楽しい取り組み

- ◆「健康まつり」は2022年9月から実行委員会を立ち上げ、2023年11月5日にスペースシアターで1部「創立70周年式典」2部「健康まつり」の構成で開催し、2,800人規模となり創立70周年に相応しい企画となりました。

2024年度 方針

I 居場所と世話人づくり

1. 組合員同士が“つながる”、地域から“ひとりぼっちをなくす”為に、地域訪問に取り組みます。
2. 支部活動をより活発にするために運営委員体

制の強化や手配り率100%を目指し、手配りが一部の協力者に集中しないように、新しい担い手(「お世話がかり」など)づくりに積極的に取り組みます。

3. 組合員1人1人の声が聞こえるように世代交代を含めて50人に1人の支部運営委員(お世話係)づくりをすすめます。
4. 居場所や班会、行事など組合員さんが集える場所の拡充を目指します。
5. 1支部1助け合い活動として「居場所活動」や「ボランティア活動」をはじめ、地域の団体と協力して「相談会」や「助け合い活動」をより広げると同時に、運動の継続と強化に取り組みます。

II 健康づくり

6. いつまでも健康であり続けられるために、新しい体組成計を活用し、フレイルチェックを取り入れ、健康チェックを広げ、地域での保健予防活動を推進します。
7. 組合員による「組合員健診」の積極的な活用と受診向上のための宣伝強化に努めます。
8. 組合員健診や制度健診を組合員さんに積極的に活用していただけるように事業所の協力を得ながら、健診内容をまとめたパンフレットを作成します。
9. 認知症予防活動をはじめとした健康についての学習や交流をおこなえる場として、班会や医療懇談会を旺盛に取り組みます。
10. 日常的な健康づくりを目的とした「ヘルスアップチャレンジ」は、子ども向けのコースなども好評で、引き続き、どの世代でも参加しやすいように工夫をします。
11. 組合員から大腸がんを出さないために「大腸がんチェック」や制度健診(検診)の普及を例年以上に取り組んでいきます。
12. 受療権を守るために、お金がなくても受診できる無料低額診療事業の宣伝・活用と相談活動を積極的におこないます。

III 組織づくりと職員との協力

13. 過去最高の20,000世帯へ回復させ、さらに高